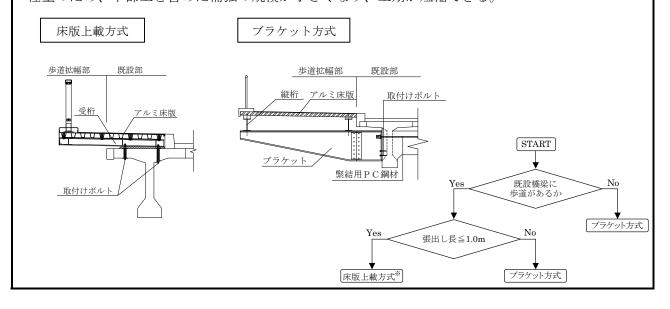
新技術調査表 (1)									登録番号	60501001		
名	称	アルミウム合金製拡幅歩道床版							作成年月日	·		
Ľ	14	<i>/ / · \</i>								3020年11月30日		
副	題									1999年 4月 日		
	野	1共 通(3公 園	进〔2<u>4</u> 路	区	1材 料	大	分類	特記	項目			
分		5海 岸	4河川分6砂防		3製品	2)工 法 3製 品 鋼橋上部 幅員			: 拡幅寸法1m~4m程度			
		7その他			4機 械 5その他	コンクリー	小橋上部	橋長:	喬長:特に制限なし			
	開発会社 提案会社兼問い合	会社等名 (株) 住軽日軽エンジ゙ニアリンケ、(株) IHIインフラ建設						担当部	署設計技術	術部		
		担当者名	小泉 泰亮						L	03-5628-8509		
開発		提 会社等名 日軽エンジニアリング株式 会社 推 担当者名 後藤 良平							担当部署構造物営業部		営業部	
発者等								136-0071	TE	L	03-5628-8533	
		住 所	東京都江東区亀戸2-35-13新永ビル						X	03-5628-8518		
	い合せ先	ホームへ°ーシ゛	http://www.sne.co.jp					e-mai	le ryohei	-goto@sne.co.jp		

【概要】

- (1) 既設の鋼橋やコンクリート橋の拡幅に適用する。
- (2) 床版の支持方法は、上載方式とブラケット方式がある。
- (3) 床版は、2.5m×6.0m以内のユニットを工場において製作し、現場ではボルト接合して設置する。
- (4) 床版の架設は、ユニック車や、縦桁上を移動する簡易クレーンなどを用いて行なう。
- (5) 舗装は現場で行ない、樹脂製やゴム製の薄層舗装、タイル接着など対応が可能である。

- 【特 徴】 (1)構造物への荷重負担を軽減(拡幅部:80~110kg/m²…10mm厚薄層舗装込み)
 - ・アルミニウム床版は軽量なため、既設構造物への負担が軽減される。
 - ・主桁や下部工の補強が、不要または軽減される。
- (2)維持管理の削減
 - ・耐食性の高いアルミニウム床版を用いることにより、維持管理費用が削減される。
- (3) 工期の短縮
- ・軽量のため、下部工を含めた補強の規模が小さくなり、工期が短縮できる。



新技術調査表 (2)

実績件数	東 京 国 土 交 るの他公共 民		2件 23件 72件 件	(内訳)	都市整備局	류 : 류 :	2件 件 件	水下交そ	道 水道 の	局局局他::::::::::::::::::::::::::::::::::	件 件 件 件
特 許	①有り	2出願中	3 出原	顏予定	4無し	(番号	:特許	第356	1185)
実用新案	1有り	2出願中	3 出原	顏予定	◯無し	(番号	:)
評価・	1技術審査・証明年月	月日()	証明	年月日 機関	術(番 ((号:)
証明		限提供システム 040034VR			4その他 2004.11.8	()
キーワート゛		ン 2環 境 D品質確保・向					・生産	性の向	5上		
	自由記入軽	量									
開発目標 (選 択)	て 作業環境の	2 省力化 3作 り向上 8周辺 ・省エネルギー	環境への	り影響抑	制 9地球	環境への	影響抑	制		性向上 その他	
従来との比較	2 3 4 5 6 7 8 R 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	程 【1 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	%) (%) (2222222222222222222222222222222222222	できまままままる 3 3 3 3 3 3 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	(%) (12%)	】(】(】(】(】(】(は量が続けるから	が鋼 <i>0</i> 約1/ †料と	面工性の)8~1 /2~1 して再) 0倍)))
ウムと錚 標準歩排 【施工単作	新数量集計マン 間の比重の比2 計りの完成時期 西等】 材工力 (アルミ床版	・ <u>暫定</u> ニュアル(案) 1.91(鋼/アル 朝は、現在のと も:29,80)と従来技術	ミ=7.8 ころ未 0,00	85/2.7= 定。 O 0円/ 反)との	2.91)を乗 ´100m2 コスト比較	じて算と	出してい		項目は	こは、	アルミニ
経済性		<u>新技術</u> 000円/100m2	26,		E技術 00円/100m2		<u>変化率</u> 2.45%				
工程		60日	平沙烯 (0日 +不確定再基		33.33%	当年	ァ 今 님	= +21.1	
※1:100m2当りの単価 ※2:既設橋の補強は不確定要素が大きいため単価に含まない 【施工上・使用上の留意点】											
留意点 対策 アルミの異種金属接触 アルミニウムと異種金属との接触部は樹脂等の絶縁材を挟み直接接触さ									接触さ		
腐食の防止 せないようにし、電気を流さないようにする。											
アルミは温度変化に敏 アルミニウムの線膨張係数はコンクリートや鋼の約2倍であり熱伝導性 感で温度伸縮が大きい も良いため、伸縮量は鋼の2倍見込む。									、伝導性		
	舗装などの橋面処理は、 舗装材料は可撓性のある10mm厚程度のエポキシ樹脂舗装や、タイルの目地 可撓性を考慮する にはシリコン等の伸縮可能なコーキング材を使用する。										
ブラケット工法において、桁高が900mm以下の場合はブラケットを取付けできないことがあります。 【参考資料】											

1. 検査基準

- (1) 設計、製作基準として、「アルミニウム合金製土木構造物設計・製作指針案」(公益 社団法人土木学会) に基づく。
- (2) 溶接および摩擦接合は上記基準に基づくが、新接合法である摩擦撹拌接合(FSW)の品 質検査は、「アルミニウム合金土木構造物の摩擦撹拌接合部の品質ガイドライン」((社) 日本アルミニウム協会)に基づく。
- (3) 上記に含まれない場合は、道路橋示方書に従う。
- 2. 検査内容
- (1)検査項目及び検査区分

検 査 項 目	検 査 対 象	記事
材料検査	主要構造部材	材料検査成績書
F S W 検 査	主要構造部材	材料検査成績書
部材寸法検査	主要構造部材	部材寸法検査成績書

(2) 引張試験データ例

引張試験網	結果			(JIS5号試験片)						
	パネル種類 (検査パネル番号)	接合線	位置	引張強さ (MPa)	耐力 (MPa)	伸び	破断 位置			
	基準値	_	_	170	100	_	_			
		1	I	230	164	11	HAZ			
	No.①	ı	Т	228	158	58 11 HAZ 60 9 HAZ 60 9 HAZ - - - 54 9 HAZ 57 9 HAZ - - - 56 8 HAZ 58 9 HAZ - - - 59 9 HAZ 60 10 HAZ				
	(SEP-33)	2	Ι	230	160		HAZ			
		2	Т	230	神力 (MPa) 伸び 100 — 164 11 158 11 160 9 160 9 160 9 157 9 157 9 157 9 157 9 158 158 9 158 9 159 9 160 10 165 8 160 10 165 8 164 10 180 —	9	HAZ			
		1	Н	_	_					
	No.(2)	'	Т	_	_	_	_			
	(SEP-107)	2	Н	224	154		HAZ			
			Т	227	157	9	HAZ			
FSW部	No.3	1	Н	_	_	_	_			
			Т	_	_	_				
	(OCT-129)	2	Н	226						
			Т	230		9	HAZ			
		1	Η	_		_	_			
		'	Т	_		_				
	No.4	2	Н	230						
	(NOV37)	-	Т	232	160		HAZ			
		3	Η	241			HAZ			
			Т	240		10	HAZ			
	基準値	_	_	230		_	_			
母材		N-1		327			Α			
(縦方向)		N-2		326			Α			
		(平均)		327			_			
(位置Hは、接合始端部より150mm. Tは、接合終端部より150mm)										

|※破断位置 HAZ:熱影響部の破断 (撹拌部境界) A:中心から標点距離の1/4以内での破断

橋梁歩道の拡幅

建 設 局 (1) 鋼橋 事業への (2) コンクリート橋 (R C橋, P C橋)

適用性

新技術調査表 (4)

1. 拡幅事例

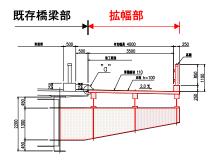
(1) 鋼橋の拡幅 (実施例



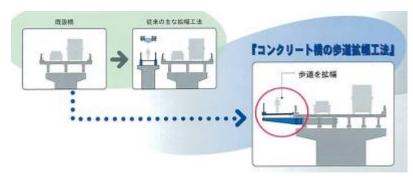


車線増加により歩道をブラケット添架して設置。 鋼主桁にブラケットを取付け、幅員は自歩道として 4 m確保した。

(新加古川大橋(上り)拡幅工事)



(2) コンクリート橋の拡幅 (イメージ)



- ① 新たに橋脚の設置が不要。
- ② ピーシー桁への削孔よる影響は、実験により確認された。
- ③ 上載方式では、現況の歩道を撤去する場合は、拡幅前よりも拡幅後の死荷重が軽減される場合も多い。
- ④ 条件によっては、活荷重も含めて拡幅前より軽減されることもあり、その場合は補強が不要となる。



新技術調査表 (5) 《実績表》

	局 名	事務所名	工	事	件	名	施	エ	期間	CORINS 登録 No.
	建設局	南多摩東部建設事務所	小川橋				平成20	年度		登録なし
	建設局	南多摩東部建設事務所	中央橋				平成23	年度		
東										
京										
都										
に										
お										
け										
る										
施										
工										
実										
績										
	【評価等がある場合、その内容】									

	発 注 者	工事件名	施工期間	CORINS 登録 No.
	国交省姫路河川国道事務所	新加古川大橋	平成15年度	登録なし
界京	国交省甲府河川国道事務所	新猿橋	平成19年度	
都 以	国交省湯沢河川国道事務所	玉川橋	平成20年度	
東京都以外の	山梨県	舞鶴跨線橋	平成21年度	
	国交省相武国道事務所	住吉橋	平成22年度	
施工実績	埼玉県	八瀬橋	平成22年度	
	大田区	大森東橋	平成23年度	
(国土交通省	群馬県	三原大橋	平成24年度	
	横浜市	半助橋	平成24年度	
省	国交省荒川下流河川事務所	志茂橋	平成25年度	
地	小平市	小平桜橋	平成25年度	
方	国交省相武国道事務所	大河原陸橋	平成26年度	
地方自治体				
١.	Tarimby N.L. y III A. y o.			
民間等)	【評価等がある場合、その降	勺谷】		
等				